



# 小中学校敷地の未除染部は

## 町 三分の一が未除染

**問** 小中学校・保育園敷地の未除染部はどれ位か。未除染部の放射能測定を行ったか。

**環境課長** 小中学校の敷地の33%、保育園の敷地の23%が未除染である。

**問** 未除染部の放射能測定は特にしていない。子どもたちが走り回ったり、遊具のある場所、

泥遊びをする場所の除染ができていない。未除染部の除染をどうするのか。

**環境課長** 今後線量測定を実施し、 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ を超え場所を除染する。

**問** 子どもたちの生活する場の除染が5年もできてなく、未除染部の計測すらしていないことについて、どう思っているのか。

**町長** 子どもたちの安全に支障があったと認識していない。今後については、もし安全に問題があれば除染する。

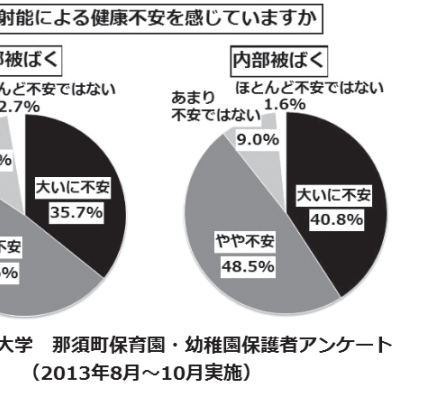
**教育長** 教育長としてやはり心配のところである。今後除染していきたい。



植込み、遊具、校舎の裏などが未除染

# 子どもたちの甲状腺検査を集団検診でしないか

## 町 慎重にしていきたい



保護者は不安に感じている

**問** 福島で子どもの甲状腺がんが多発している。子どもや保護者達の不安を解消するには、甲状腺検査をやることだ。子どもたちが検査を容易に受けられるよう集団検診で行わないか。

**保健福祉課長** 甲状腺検査の助成措置を継続し、小中学生を通じて保護者に制度

の周知を図り、あわせて保護者の放射能に関する意識調査を行う。

**問** ホールポディークアウンタは集団検診で行っているのに、甲状腺検査は集団検診でできないのか。

**保健福祉課長** 希望者には検査をしていただき、人数が多くなれば、他の医療機

関に行くことも考えていく。

**町長** 現在、放射能に対する不安の声を聞くことはなくなつた。町民も甲状腺検査を必要としてないと考えられるので、甲状腺の集団検診は、慎重にしていきたい。